

# みんなで環境問題への取り組みをはじめよう!



## 地球温暖化に 対応した取り組み

地球温暖化問題は地球規模の環境問題なので、国連の「COP(コップ)」という会議に、世界の国から代表が集まって、問題解決に向けた話し合いが行われています。2015年には「パリ協定」が採択され、気温上昇を2℃までにとどめること、1.5℃に抑えることも目指すこと、今世紀後半に温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを決めました。那須塩原市でも地球温暖化などの地球規模の課題を地域レベルで考え、これらの課題への理解や問題意識を深める契機として、2050年までにCO2排出量実質ゼロを目指すことを2019年12月3日に宣言しました。

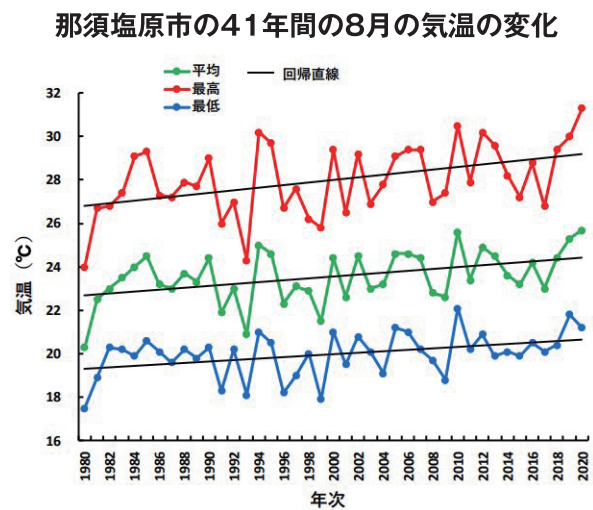


図 最暖月(8月)の気温の年次別推移(黒磯アメダス)。  
出展: 那須塩原市気候変動対策局 那須塩原市における気候変動の影響と対応

最高気温は40年間で約2℃上昇。  
平均気温(緑)、最高気温(赤)、最低気温(青)  
ともに上昇傾向にあるが、最高気温の上昇程度が一番大きい。



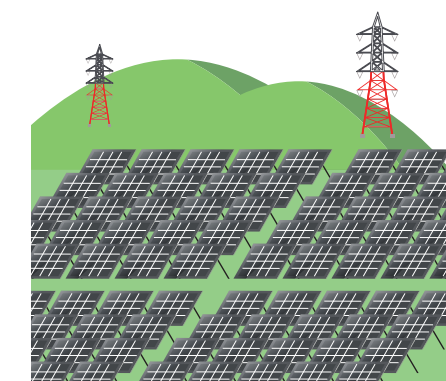
## 産業廃棄物 処理施設の乱立

那須塩原市北部には産廃処分場が集中していて、現在9箇所もあり、今後さらに拡大傾向にあります。産廃処分場からは有害物質による地下水汚染が懸念されます。健康被害だけでなく、発展することは二度とない土地になってしまいます。自然豊かな土地をこれ以上なくさないためにも、産廃処分場を増やさないよう注意が必要です。



## 大規模な太陽光発電施設 (メガソーラー)建設による 自然への影響

全国各地で大規模な太陽光発電施設(メガソーラー)建設による自然破壊が問題となっています。もともと森林だった場所を太陽光発電のために皆伐して違う環境に変化させることは、本来、地球温暖化への危機に対する対策のはずだったものが、開発という行為による自然への新たな危機になってしまうという事態を生み出しているのです。



本市でも産廃最終処分場の埋め立て地の上にメガソーラー開発が進んでいますが、上記の点について、地域住民間で話し合うことも必要です。



## 知る 学ぶ

まずは、何が起きているのかを知ることから。  
那須連協のイベントに参加してみる。  
那須連協はいろいろなイベントを通して市民のみなさまの参加を応援しています。



那須地域  
環境対策連絡協議会  
ホームページ

## 那須連協が取り組んできたこと

那須地域の『人と自然と食』に関わる全ての環境問題に関し、市民の立場で関係者関係機関と連絡調整を行いつつ、ランドデザインを構想・立案・提案します。



## 主な実績

- 那須塩原市と市議会との協議
- 市民向け講演会の開催
- 先進地調査・視察の実施
- 産業廃棄物処理場計画反対運動の企画実施
- 全国産廃問題市町村連絡会との連携



## 生徒による環境問題啓蒙ポスター 市内公民館等に掲示されました。



那須地域連絡協議会環境

## アクションプラン

環境問題の学習と啓蒙活動を実践し、  
21世紀を担う子どもたちへの環境教育の機会の創出を図り、  
持続可能な自然環境と地域づくりを目指します。



## 那須塩原市の現状 /

最高気温が40年間で  
約2℃も上昇  
さらに上昇傾向にあります!

過去40年間の那須塩原市における気温の推移を見ると、確実に気温は上昇傾向にあります。私たち市民も、これ以上地球温暖化が加速しないよう、今できることから始めましょう。

今後増えると予測される災害

- さらなるゲリラ豪雨の増加、局所化
- 川の増水による堤防決壊の多発化
- 土砂崩れの増加
- 農作物の不作
- 山々の生態系への影響 など